

地方創生関連交付金に係る事業実施結果報告

1. 事業の名称・実績額等

①交付金対象事業の名称	国際スポーツ関連産業クラスター構想推進事業		
②交付金の種類	地方創生加速化交付金	③実績額	5,786,508円 (うち交付金5,786,508円)

2. 重要業績評価指標（目標値と実績値）

④当該事業における重要業績評価指標（KPI）				⑤事業終了時点における実績値
	指標	目標値	目標年月	
指標1	商工団体等の開業・改装等の相談件数	2件	H29.3	→ 3件

3. 事業の目的、内容、事業の実施結果、今後の方針等

【事業全体としての背景・目的等】

生活圏を同じくする兵庫、鳥取、岡山の県境に位置する兵庫県宍粟市・佐用町・上郡町、鳥取県智頭町、岡山県美作市・西粟倉村の6市町村は、平成26年12月に「三県境地域創生会議」を立ち上げ、人口減少や地域課題に取り組んでいます。このような状況のなか、代表市である美作市は「NODAレーシングアカデミー（NRA）」の開校や「岡山国際サーキット」・女子サッカー「岡山湯郷ベル」の存在、自衛隊体育学校の誘致への動きなどを受け、国際スポーツ関連産業クラスター構想の推進を図っています。このなかで、特に美作市の廃校（旧大原高校）を有効活用し、民間の協力を得て、人材育成機関（美作市スポーツ医療看護専門学校）を整備することが決まりました。

佐用町は三県境地域創生会議構成市町村のなかでも特に隣接自治体でもあり、また智頭急行でも直接結ばれています。町内生徒の進路選択先の充実はもとより、学生の居住・滞在による賑わいの創出、卒業生の町内への就業・居住、また、特に医療・介護職の人材不足解消、鉄道の利用促進など多分野において非常に期待の大きいものとなっているため、その開校にあたり支援を行うものです。

（当事業は、三県境地域創生会議の代表市である美作市を中心に取り組む広域連携事業として実施しています）

【事業の内容、実施結果、今後の方針等】

○サポート人材育成機関開設支援事業（美作市スポーツ医療看護専門学校開設にかかる支援）

三県境圏域における看護師、介護福祉士等の養成を促進し、地域医療の維持・向上を目指すとともに、若者定住等による地域活力の創造を図るため、学校開設事業者である学校法人大阪滋慶学園に対し、校舎建設費等の一部補助・専門学校及び通信制高校の開校に伴う準備支援・開設説明会事業に対する支援等を行いました。また、平成29年3月には、関係者に広く学校概要等を知っていただくとも



（専門学校完成イメージ）

に、今後の様々な協力体制構築の契機とするため、佐用町においても学校概要等説明会を開催しました(町議会議員・教育委員・町関係職員・交通事業者・学校関係者・商工会・医療機関・介護事業者・金融機関・観光事業者等、約70名参加)。



(学校概要等説明会)

美作市を中心として、三県境地域創生会議でも協力をしながら誘致を進めてきた「美作市スポーツ医療看護専門学校」が、旧大原高校跡地に平成30年4月の開校を目指して、着々と準備が進められています(現在オープンキャンパス等も実施され、校舎も今秋に完成予定となっています)。佐用町としても、町内生徒の進路選択先の充実はもとより、当該学校の学生の居住・滞在による賑わいの創出、卒業生の町内への就業・居住、また、特に医療・介護職の人材不足解消、鉄道の利用促進など、多分野において非常に期待を大きくしている事業です。今後も地域にとって重要な教育機関となるため、可能な限りの協力体制を構築していきたいと考えています。

なお、学校開校前の状況ですので、学生の通学や居住等の直接的な波及効果はまだありませんが、既に専門学校教員の本町への新規居住、滋慶学園高等学校での職員の採用などの波及効果を確認しています。